商工会青年部活動報告

●築城四〇〇年祭 PRマラソン

青年部400キロマラソン いよいよスタートします！

篠山市商工会青年部は「篠山城築城400年祭」の応援PR企画として近畿2府4県を部員たちがリレーでつなぐ「青年部400㎞マラソン」を実施します。3月7日に篠山城をスタートし、京都～滋賀～奈良～和歌山～大阪～兵庫、そして3月20日に篠山城のゴール目指します。近畿の各県庁・府庁を結ぶとちょうど400キロになり、各県庁では、「訪問PRセレモニー」と題し、篠山市長からの「築城400年PR巻物の贈呈式」を目玉に特産品やも近畿の各地に「篠山」をPRしてきます。〔稲山重之〕

●ソフトボール大会

押入れのホコリをかぶったグローブと自慢のバットを片手にメタボ予備軍が集まったのは、平成20年7月12日氷上総合グランドで行われた丹波篠山地区商工会青年部ソフトボール大会だった。難しい会議には顔を見せない面々もこの日ばかりは生き生きした顔で多数参加してくれるのは、親睦を深めるためなのか？ダイエット気分なのか？それともプレー後の美味しいビールのためなのか？

篠山市商工会青年部は、5チームに分かれそれぞれの会場で熱戦を繰り広げました。さすが、篠山市を担う若者！自分たちの事業を担う若者！世の中の酸いも甘いも経験している篠山市商工会青年部員の顔はマジだ！心底負けるのが嫌いなのだ！

真剣の中に笑いあり、珍プレーあり、懐かしき青春の汗を共感することのできる年に一度の素晴らしき行事だった。〔野村豪人〕

《成績》
丹波篠山地区商工会青年部ソフトボール大会
優勝・準優勝
（平成20年7月12日於：氷上総合グランド）

兵庫県商工会青年部ソフトボール大会
準優勝
（平成20年9月27日於：氷上総合グランド）

●デカンショ祭 青年部売店出店

今年も篠山市商工会青年部の全体事業として丹波篠山が誇る一大イベント「デカンショ祭」に青年部売店を出店しました。昨年部売店省点を基に2ヶ月も前から打ち合わせを開始し、当日は各支部から選出された面々が午前中から猛暑の中、準備をしました。祭が賑わう午後5時の開店から祭が終了するまでの間、絶え間なく続くお客さんの列に圧倒されながらも、2日間を無事終えることができました。

合併後の恒例行事として定着してきたデカンショ祭の出店では、「お客様に満足していただく」という共通の意識を持つことで各支部の連携を高め、同時に交流と親睦を深める事ができたのではないでしょうか。終了後、紙コップに注いだビールの味を生涯忘れることはないでしょう。〔大久保朝之〕

●研修会

平成20年9月30日後継者経営戦略研究所代表大島康義、先生を講師としてお招きし『後継者に告ぐ！早く気づけ！自ら動け！～事業継承の落とし穴～』と題した研修会を開催しました。

私たち青年部の大半は〝後継者〟です。その〝後継者〟という意味を辞書で調べると、「師の芸や技を受け継ぐ人」「家督や家業を継ぐ人」とでてきます。ではそれらを〝継ぐ〟私たちは、どのようにすれば継げるのか？継いでからはどのようにすればよいのか？

今年で3回目となる市青年部研修旅行の行き先は熊本県です。一行は、早朝に篠山を出発。熊本空港に着くや否やバスに乗り込み、篠山鹿市の筑前街道で酒蔵・味噌蔵を見学し、ボランティアガイドの案内で町並みを見学しながら徒歩で光専寺へ向かい歴史あるお寺を肌で感じる事ができました。その後は、バスに乗り込みフードバル熊本のワン工場で研修を受けました。

●視察研修旅行

朝からのハードスケジュールもあり、宴会の盛り上がりも心配されましたが、その心配も必要なく、年齢、支部を超えた情報交換が活発にされていました。

後継者経営では、先生は、先生自らの体験談、大島先生のホームページを語られておられます。ご覧になられてはいかがでしょうか。〔松本道康〕

そして、今回のメインである熊本城の見学では、一行の雰囲気が変わったように感じました。今年、篠山城が築城400年を迎えるに当たり、計画された事を考慮したこの研修旅行で、部員個々が目的意識をもち参加してもらえる事が有意義なる時間でした。〔安田嘉典〕

●主張発表大会

細川泰貴
「青年部活動と地域振興・まちづくり～今、必要なこと～」

西尾直樹
「青年部活動に参加して～先輩との繋がり・交流から学んだこと～」

中井雅人
「青年部活動に参加して～わいわいフェスティバルへの想い～」

平成20年4月21日に行われた丹波篠山地区商工会青年部主張発表大会は、開催されました。この大会は、頃の商工会青年部活動を通じて得た事例を主体的に発表するもので、篠山市商工会青年部代表の3名は力強く発表しました。

私たち商工会青年部では、「住みたいまち・訪れたいまち丹波篠山」を目指した、丹波篠山の魅力を認識していただき丹波篠山ブランドを確固たるものにするためのまちづくりの出発点と考え、駅・インターチェンジ名称変更運動を平成19年に開始しました。

名称変更実現を目指して！

平成20年度の取り組みとしては、4月より丹波ささやま農業協同組合・丹波篠山観光協会・篠山市商工会の3団体で署名活動を実施。6月署名活動により集まった12752名分の署名と合わせ、篠山市に名称変更を正式要望。7月市民への周知を徹底するため市内各所にのぼりを設置。9月篠山市より要望に関する回答書説明会を開催していただきました。

回答内容は、篠山市としても名称変更については、「検討すべき大きな課題」と認識し、迅速に関係機関とも交渉頂きました。その結果、「関係機関が名称変更の必要性を理解する事」、「要望自治体には応分の費用負担が発生する事」が検討すべき課題となります。

しかし、現在、篠山市では、財政再建、地域医療など緊急に取り組むべき課題があり、長期的な観点から名称変更を検討する必要があり、それに伴い市民や企業の皆様に負担をかける場合もあると推察するため、大方の合意や賛成が必要ではないかとの見解でした。

その後も篠山市商工会青年部で今後の名称変更運動について協議し、2月に篠山市・丹波ささやま農業協同組合・丹波篠山観光協会・篠山市商工会の代表者にお集まり頂き、今年度の報告と今後の方向性を協議するための名称変更委員会報告会を開催致しました。

報告会では、商工会青年部より現状を冷静に判断すれば、早急な名称変更の実現は難しい状況にある事を報告し、今後の方向性についてご協議いただきました。

最終的に、今後の取り組みは、与えられた検討課題を解決するために各団体が、情報収集や関係機関への働きかけを継続し、実現に向けた土台作りを進めて行く必要があるとの結論に至りました。

篠山市商工会青年部は、名称変更運動の核として、地道な活動を継続していきますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いします。

支部活動報告

西紀支部 夏だわいわいフェスティバル ★キッズワールド丹波篠山★

◆キッズワールド丹波篠山　開催日/平成20年7月31日　場所/ハイマート佐仲

西紀支部では、篠山市在住の小学生を対象にした【夏だわいわいフェスティバル】を企画運営しています。このイベントは、「自然」「体験」「郷土愛」などをテーマとして、毎年夏休みに趣向を変えて開催しているものです。今年度は【キッズワールド丹波篠山】と称し、職業体験をベースとした社会学習ができる「子供のための仮想社会」を企画しました。

部員たちが、自らの職業をベースに考案した6つの職業ブースを設け、子供達に実際に汗を流して労働をして貰いました。また労働の報酬として、キッズワールド内の食事や遊びに必要な専用通貨【わいわい】が支払われ、子供達は、職種の選択から報酬の使い道などすべてを自分で考え1日を行動しました。

汗だくになりながら左官業の壁塗りをしたり、慣れない手つきで大工仕事を一生懸命する男の子たち。稼いだ【わいわい】を使ってプロにお化粧をして貰い、ちょっと恥ずかしそうに頬を染めている女の子たち。「次はどこで働くー？」「あっちの仕事が楽しそうだよ！」などとはしゃぎながら、学校や家庭では出来ない体験に、目をキラキラ輝かせていたのがとても印象的でした。

地元産業に根付く商工会の特性を生かし、働くことの楽しさや厳しさ、自立性や金銭感覚を、子供たちに養ってもらえる有意義なイベントでした。

次年度の計画もスタートしており、部員以外の多くの方の力もお借りして、さらに充実した内容のイベントにしたいと考えております。〔田中賢治・北山濃〕

篠山支部 デカンショ祭・いのしし祭

◆デカンショ祭　開催日/平成20年8月15日・16日　場所/篠山城跡周辺
◆いのしし祭　開催日/平成21年1月31日　場所/篠山城跡周辺

8月15日・16日篠山城跡周辺において第56回丹波篠山デカンショ祭を開催しました。今年は「観客に満足感を与えられる祭」にしようという想いからデカンショ祭のシンボルである巨大ヤグラの北側に約300人が座れる観客スタンドを設置しました。更に、16日祭のフィナーレを打上花火で華やかに演出できるように工夫を凝らしました。また、恒例となっております競演会、Jr.競演会、演奏会も素晴らしい盛り上がりでした。

猛暑の中での準備作業から当日、片付けまで大変でしたが、終わってからの部員のみんなと飲んだビールは格別なものでした。

また、1月31日には、篠山城跡周辺で第6回いのしし祭を行いました。始まって以来の悪天候にもかかわらず、傘をさして来られるお客様を見た時、いのしし祭が定着している喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。その後も天候が回復することはありませんでしたが、お馴染みの丹波一ガー、しし丸焼きには長蛇の列ができ、メインイベントの「どどど！いのしし猛レース」では大勢の観客はその走りっぷりに興奮し、会場全体が熱くなりました。〔藤井豪・大久保朝之〕

今田支部 丹波焼陶器まつりと焼き物の里のイルミネーション

◆陶器まつり　開催日/平成20年10月18日・19日　場所/今田公民館前
◆イルミネーション　開催日/平成20年11月29日　場所/兵庫陶芸美術館

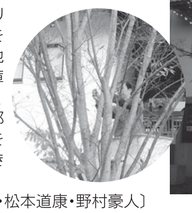
10月18・19日に丹波焼陶器まつりが開催され、今田支部では恒例の餅つきと焼き餅の販売を行いました。

例年にない晴天に恵まれ、10月でありながら参加した部員は真夏並みの暑さの中、汗だくになりながら、地域イベントの盛り上げに一役かいました。

また、本年は飲食会場に丹南及び西紀支部が出店し、一層の交流が図れたのではないかと思います。

11月29日に兵庫陶芸美術館においてイルミネーションの点灯イベントを開催、今年で4回目となるイルミネーションでは、新たに光のカーテンを飾り付け新たな試みを行いました。

当日は生憎の悪天候でしたが、点灯を盛り上げるイベントでは、部員自らミュージックベルの演奏を行ったほか、オカリナ演奏、ジャグリングショーを開催して、地元住民と兵庫陶芸美術館、商工会青年部の交流の場を持つ事ができました。



〔森本靖之・松本道康・野村豪人〕

丹南支部 茶カレー販売と真冬の花火大会

◆大国寺茶まつり　開催日/平成20年6月7日・8日　場所/大国寺周辺
◆真冬の花火大会　開催日/平成20年11月15日　場所/味間地区

本年度、丹南支部の事業としましては、茶カレーの販売、11月の花火大会など新しい事業に取り組んだ年度となりました。

丹南の地で行われる「大国寺と丹波茶まつり」の開催にあわせ、県下においても有力なお茶の生産地で活動をしている支部の事業として、茶カレー（お茶ごはんのカレー）の販売をいたしました。お茶の分量や販売方法において各部員が意見を出し合い、試食を重ねて完成した商品でありましたので、容器が足りなくなるくらい販売が好調だったことよりも、みんなの気持ちを商品として「かたち」に出来たことがなにより嬉しかったです。

また、11月には真冬の花火大会を開催いたしました。初めて行う事業で準備の大変さよりも、成功するかの不安がかなりありましたが、結果的に会場は超満員となり大成功に終えることができました。11月の澄み切った夜空に花火が打ちあがるたび会場から大きな歓声があがり、開催した部員にとっても記憶に残る事業となりました。

〔稲山重之・松下卓好〕